



3万人のパククネ打倒デモ 10月29日、ソウル

パククネ・安倍たおせ！

パククネ打倒へ闘う韓国の学友に続こう

11・6日比谷野音へ！

◆10/29ソウルで3万人のパククネ打倒デモ！ 韓国労働者と連帯し11・6日比谷野音へ！

韓国で9月27日の民主労総による無期限ゼネスト（地下鉄や病院、貨物などの労働者による一斉ストライキ）が1か月以上にわたって闘われています。崔順実（チェスンシル）



パククネ(左)とチェスンシル(右)の癒着を揶揄するポスター

への機密文書流出問題を含め、朝鮮戦争と労働法改悪に突き進むパククネ政権を支持率17%（10月27日時点、不支持は74%）の打倒寸前にまで追い込んでいます。29日ソウルでは3万人のデモが闘われました。また労働者の闘いに学生も合流し、大学占拠や国会突入闘争、さらに30大学以上からパククネ退陣を求める声明（時



機動隊と激しく激突するデモ隊（10月29日、ソウル）

局宣言）が出されています。20代のパククネ支持率は10%未満です。

決死の覚悟でゼネストを闘っている民主労総が、ついに政権打倒情勢を引き寄せる中で11月6日に日本の日比谷野外音楽堂に結集します。アメリカやドイツなど全世界の労働者も結集し、「敵は1つ」「国際連帯で戦争とめよう」「労働改悪と対決し、闘う労働組合を甦らせよう」「ゼネラルストライキで闘おう」と宣言します。

11・6国際共同行動に、ぜひすべてのみなさんの結集を呼びかけます。



全日本学生自治会総連合(斎藤郁真委員長)

03-3651-4861 mail_cn001@zengakuren.jp http://www.zengakuren.jp

◆韓国も日本も学生運動が大高揚期に!

梨花女子大での7000人デモ(7月)、ソウル大学の総長室突入闘争(10月)を突破口に、韓国では空前の学生による決起が始まっています。

26日には「パククネ弾劾学生運動本部」の学生4名が正午ころ国会前で「国会はパククネを弾劾しろ」「チェスンシルを拘束しろ」「4年間大韓民国をめちゃめちゃにした権力の実態が明らかになった」と叫び逮捕されました。

27日にはパククネが釜山に記念式典のためにノコノコと現れた所を釜山大学の学生が奇襲デモを行い、慌てふためいた大統領SPによって5人が逮捕されました。

パククネが進める労働法の改悪は「成果主義導入」と称して青年を一生非正規雇用に叩き落とし、容易な解雇と低賃金を可能にするものです。これに対する怒りが民主労総のゼネストを契機に青年・学生から大爆発する情勢に入っています。

日本でも京都大の反戦バリケードストライキへの処分撤回闘争が「集会禁止」などの当局による弾圧を跳ねのけて大高揚期に入っています。

◆安倍もパククネと同じだ!

安倍が進める「働き方改革」はパククネ政権がやっている労働法改悪と全く同じです。昨年12月25日に電通で過労自殺に追い込まれた女性労働者は、まさに会社と安倍政権、さらには協定を結んで残業を容認していた労働組合によって殺されたも同然です。さらに学生の団結を破壊し就活に追い立て、電通のようなブラック企業を「一流企業」と言って容認してきた大学も同罪です。

安倍・パククネ打倒の11・6へ! 共に闘いましょう。



国会に突入し、パククネ退陣と書かれた横断幕を掲げ逮捕される学生4人(26日)



釜山を訪れたパククネに奇襲デモをかけて逮捕される学生(27日)

11・6集会へ集まろう! 首都圏大学1年生からのアピール

今の私は何でできているのか。食べたもの。その食べ物は、どうやってできたのか。それは人間が作ったんじゃない。「人間が生産してるんじゃない。草一本人間が作ってるんじゃない」というある人の話を聞いた。「この社会は労働者が回している」それは確かにそうかもしれない。でも私は、「この世界は自然でできている」と思う。だから、99%と言われている人が、自然に返る道を進めば、それは社会を変えることと同義だと思う。自分や社会で生きること違和感を感じて人が目指すべきところは、自然だと思う。そこを目指さない限り人間は自然を壊し、滅びる道を進んでいるだけ。

私は持続可能な農と自給自足できる村をつかっていきたい。その過程で通る道に、原発や戦争を止める闘い、資本主義打倒の闘いがある。そのために行動するのは今だと思うから、韓国で無期限ゼネストで闘う人々と闘いたいという想いで、今度の11・6全国労働者集会に参加する。

正直労働が偉いとは思わない。それが自然と相いれないものならなおさら。人間が何か作ったところで、自然にとってはゴミでしかない、核のゴミも同じ。「キャベツを食べている虫を敵とするな。その虫は私よりも自然に貢献しているじゃないか」「人間が何かに対して価値をつけるな。そもそも人間の作った物に価値なんてない。」「何かを変えたいなら、自分の生き方を変えろ。生きる場所を変えろ。」この言葉を毎日毎日、自分に突き刺している。私はまだ自然と共に生きていないけど、それでも自然を愛することは忘れない。

国境をこえた団結で朝鮮侵略戦争と労働法制改悪阻止へ!

11・6全国労働者総決起集会

11月6日(日) 正午 東京・日比谷野外音楽堂

民主労総11・12労働者大会

11月12日(日) ソウル



<呼びかけ> 全国民主労働組合総連盟ソウル地域本部(民主労総ソウル地本) / 国鉄千葉動力車労働組合(動労千葉) / 全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部(関生支部) / 全国金属機械労働組合港合同(港合同)